Yonago Medical Center Magazine ARCUS

心と言葉を虹の架け橋にのせ“伝える”“つながる”情報誌

ご自由にお取り下さい

あーかす

米子医療センターマガジン#52
July 2026（令和8年7月号）

市民公開講座を開催しました ～テーマ「乳がん」～

各診療科紹介 ～胸部・乳腺外来～／～消化器外科～

看護の日の行事を開催しました

新人看護師研修 看護部

認定看護師の紹介

薬剤部／安全キャビネット

Topics File～栄養管理室の掲示板

Enjoy! 学生 LIFE



contents

03 市民公開講座を開催しました
～テーマ「乳がん」～

04 各診療科紹介～胸部・乳腺外来～

06 各診療科紹介～消化器外科～

08 看護の日の行事を開催しました

09 新人看護師研修 看護部

10 認定看護師の紹介

12 薬剤部／安全キャビネット

13 Topics File～栄養管理室の掲示板

14 Enjoy! 学生 LIFE

米子医療センターのロゴマーク

患者さまと職員が向き合った姿で、患者さま中心の医療提供とYONAGO（米子）の「Y」、MEDICAL（医療）の「M」、CENTER（センター）の「C」の文字を、まごころ、信頼、安心、良質の医療をイメージする「ハート」に組み合わせ「米子医療センター」の明るく元気な姿を表しています。

あーかす

あーかす（Ａｒｃｕｓ）とはラテン語で「虹」を意味し、英語のＡｒｃ（弓、橋）＋Ｕｓ（私たち）で「私たちが地域の架け橋になる」という意志を込めてタイトルとしました。私たちの持ついろいろな表情を、地域の方々や医療関係者に広く知って頂き、絆を更に深める情報を掲載してまいります。

市民公開講座を開催しました
～テーマ「乳がん」～





令和8年6月20日（土）、当院くずもホールにおいて第40回市民公開講座を開催しました。
当院の市民公開講座は、地域の皆さまを対象に、医療に関する正しい知識の普及と健康意識の向上を目的として開催しており、今回で40回目を迎えました。第1回は平成21年2月28日に「退院してからお家で安心して生活するために」をテーマとして開催した記録が残っています。

今回は「乳がん」をテーマに、検診・診断・治療に関する最新の知見と、当院における看護支援についてご紹介しました。講師は胸部・乳腺外科医長の万木洋平先生と、5階病棟看護師の中島香織さんが務めました。

万木先生は、乳がんは年々増加傾向にあり、日本人女性の9人に1人が罹患するといわれている一方で、乳がん検診の受診率は依然として低い状況にあることを説明されました。また、乳がん検診の目的は、早期発見によって乳がんによる死亡率を低下させることにあり、定期的な検診受診の重要性について分かりやすく解説されました。

さらに、「ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）」についても紹介され、自分の乳房の状態を日頃から知っておくこと、変化に気付いた際には速やかに医療機関を受診すること、そして定期的に乳がん検診を受けることの大切さが説明されました。

続いて中島さんは、「乳がん診療における看護師の役割」をテーマに、当院における乳がん患者さんへの支援について紹介しました。当院では、患者さんが退院後も安心して日常生活を送ることができるよう、継続的な支援を行っています。講演では、専門的な知識や技術を持つ看護師による支援体制や、患者さん一人ひとりの思いに寄り添った看護の実践について説明しました。

また、患者さんと医療者をつなぐ「交換ノート」の活用について紹介しました。交換ノートには、病理検査結果や今後の治療方針、医師・看護師からのメッセージに加え、退院後の日常生活に関するアドバイスなどを記載し、患者さんと医療者が情報を共有するためのツールとして活用しています。このような取り組みを通じて、患者さんが安心して治療に臨み、自分らしい生活を続けられるよう支援しています。

参加者からは、「とても分かりやすかった」、「乳がん検診の大切さがよく分かった」、「看護師の話を聞く機会は少ないので、とても良かった」などの感想が寄せられ、乳がんへの理解を深めていただく有意義な機会となりました。

当院では今後も市民公開講座を継続的に開催し、地域の皆さまの健康づくりに貢献するとともに、病院理念である「地域の命を支える」の実現に努めてまいります。

ブレスト・アウェアネスの4つの基本行動



各診療科紹介

胸部・乳腺外科



医長 万木 洋平

乳腺疾患

乳腺疾患は当科で最も力を入れている領域です。乳がんは日本人女性の 9 人に 1 人が罹患するとされ、女性にとって他人事ではありません。当院は最新のマンモグラフィ撮影装置と超音波診断装置を導入しており、精度の高い画像診断が可能です。ぜひ当院で乳がん検診や精密検査を受けて頂きたいと思います。また当科には乳腺専門医が 2 名おり、最新の知見に基づいた専門的な診療を行っています。そして当院は、外科療法、薬物療法、放射線療法、緩和ケアまで、乳がん診療のほとんどすべてを院内で完結できる体制を整えた県内でも数少ない医療機関のひとつです。もちろん当科の医師だけではなく、放射線科、緩和ケア内科や、乳がん看護認定看護師を中心としたメディカルスタッフと共に、それぞれの患者さんに寄り添った最善の医療を提供できるよう心がけています。

胸部疾患

胸部疾患も当科で力を入れている領域のひとつです。近年、原発性肺がんや縦隔腫瘍の手術は、完全胸腔鏡下手術やロボット手術といった低侵襲手術（傷が小さくからだへの負担が少ない手術）が主流となっています。そのためこのような手術の実績において全国トップレベルにある鳥取大学医学部附属病院呼吸器外科に紹介させて頂いています。一方で気胸や転移性肺がん、膿胸・胸膜炎、手掌多汗症などは当院で積極的に手術を行っています。いずれの疾患でも胸腔鏡下手術により、術後の痛みの軽減や早期退院に繋がっています。また気胸や膿胸・胸膜炎、胸部外傷に対する胸腔ドレナージ等の治療にも 24 時間体制で対応しています。





内分泌疾患

内分泌疾患では、甲状腺腫瘍（がん、良性腫瘍）や副甲状腺腫瘍（がん、腺腫、過形成）などに対する手術を積極的に行っています。これらの疾患では超音波検査や穿刺吸引細胞診（細い針をさして細胞を採取する検査）、シンチグラフィ（からだに害のない放射性物質を用いた画像検査）などによる正確な診断を心がけています。また甲状腺機能亢進症や甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症に対する薬物療法も行っています。

末梢血管疾患

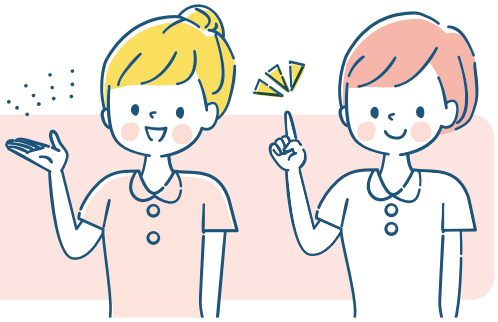
末梢血管疾患では、下肢静脈瘤や閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症などに対する診断や薬物療法、経過観察などの診療を行っています（下肢静脈瘤の血管内治療、閉塞性動脈硬化症のバイパス手術や血管内治療は近隣の専門医療機関に紹介させて頂いています）。また血液透析のための内シャント手術を数多く行っています。患者さんの状態に応じて、人工血管を用いたり、動脈表在化を行うこともあります。

リンパ浮腫

リンパ浮腫に対しては、専門的な治療が行える県内でも数少ない診療科のひとつです。リンパ浮腫は主にがんに対する腋窩部・骨盤部・鼠径部などのリンパ節郭清（リンパ節の切除）により発症します。四肢の動かしにくさ、怠さなどにより日常生活に支障を来すほか、蜂窩織炎（細菌の感染）により高熱が出たり、ときには生命を脅かすこともあります。リンパ浮腫に対しては複合的治療と呼ばれる専門的な治療が必要であり、当科では研修を受けた医師、看護師が診療にあたっています。

このように当科では幅広い分野の診療を行っています。もちろん当科だけで診療を完結させることにはこだわらず、院内の他の診療科や、近隣の医療機関とも連携して、患者さんにとって最善の医療を提供できるように心がけています。これまで述べてきたような様々な疾患の入り口として、お気軽に紹介あるいは受診して頂けますと幸いです。

当院の胸部･乳腺外科は私（2008年卒、医学博士、乳腺専門医、呼吸器外科認定登録医、がん治療認定医）と、2名の女性医師で診療をおこなっています。当科の診療内容は別表のように多岐にわたっており、その一部をここで紹介させて頂きます。



当科の診療内容

乳腺疾患
- 乳がん
- 良性乳腺腫瘍
- 乳腺炎，乳腺膿瘍
- 乳がん検診、検診精密検査

胸部疾患
- 原発性肺がん
- 転移性肺がん
- 縦隔腫瘍
- 気胸
- 膿胸、胸膜炎
- 手掌多汗症
- 胸部外傷（肋骨骨折、血気胸など）

*原発性肺がん、縦隔腫瘍の手術は鳥取大学医学部附属病院に紹介しています。

内分泌疾患
- 甲状腺がん
- 甲状腺機能亢進症（バセドウ病）
- 甲状腺機能低下症（橋本病）
- 良性甲状腺腫瘍
- 副甲状腺腫瘍（がん，腺腫，過形成）
- 副甲状腺機能亢進症

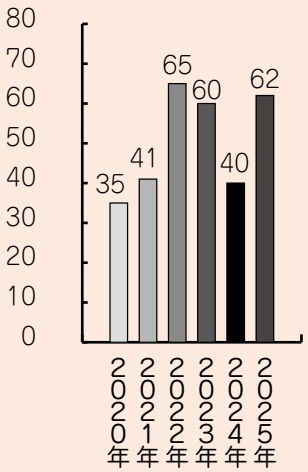
末梢血管疾患
- 下肢静脈瘤
- 閉塞性動脈硬化症
- 深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症

透析内シャント

*下肢静脈瘤の血管内治療、閉塞性動脈硬化症のバイパス手術や血管内治療は他院に紹介しています。

その他
- リンパ浮腫
- リンパ節生検（頚部、腋窩、鼠径部など）
- 中心静脈ポート留置
- 気管切開
- 皮膚・皮下腫瘍（脂肪腫、粉瘤など）

乳がん手術件数



各診療科紹介

消化器外科

医師　石黒 諒



図1

消化器外科のご紹介

米子医療センター消化器外科では、消化管疾患、肝胆膵疾患、ヘルニア疾患など良性・悪性を問わず幅広い疾患の診療を行っています。2025年の年間手術件数は456件で、この数年は増加傾向にあります（表1）。近年では80歳代、90歳代の患者さんの手術も珍しくなくなりました。年齢だけで治療方針を決めるのではなく、患者さんの全身状態や生活背景、ご本人・ご家族の希望を踏まえながら、最適な治療を提案することを心がけています。当科では低侵襲な腹腔鏡手術にも積極的に取り組んでおり、手術全体の約3分の2を腹腔鏡手術が占めています。腹腔鏡手術は開腹手術と比べて傷が小さく、術後の痛みの軽減や早期回復が期待できるため、患者さんの負担軽減につながっています。

また、当科では消化器癌に対する根治手術に加え、術後ならびに再発症例に対する化学療法にも積極的に取り組んでいます。加えて、急性虫垂炎、急性胆嚢炎、腸閉塞、消化管穿孔など、緊急手術が必要な疾患にも24時間体制で対応しており、2025年は手術全体の約3分の1が緊急手術でした。こうした診療体制は消化器外科だけで成り立つものではありません。消化器内科、麻酔科をはじめとする各診療科の医師や、看護師、薬剤師、リハビリスタッフなど多職種との連携によって支えられています。さらに、周りの診療所の先生方からも多くの患者さんをご紹介いただいており、地域の先生方との連携によって医療が支えられていることを日々実感しております。

現在のスタッフは奈賀卓司統括診療部長（1992年卒）、谷口健次郎消化器外科医長（2000年卒）、牧野谷真弘医師（2016年卒）、浅山皓太医師（2024年卒）、筆者(2017年卒)の5名体制です（図1）。外来は各曜日で担当医が決まっており(火曜日は交替医)、定期受診のみならず予定外受診にも対応しており、患者さんに寄り添った診療を心がけています。当科は経験豊富なベテラン医師から若手医師まで幅広い世代で構成されており、日々診療と教育に取り組んでいます。次世代の外科医育成も、地域医療を支える重要な役割の一つと考えています。

表1

2025年手術件数	
年間手術件数	456
腹腔鏡手術	316
開腹手術	107
緊急手術	147
領域別	
胃がん	27
大腸がん	61
肝臓がん	15
胆道がん	4
膵臓がん	5
胆石、胆嚢炎、胆嚢腺筋症など	92
虫垂炎	50
ヘルニア疾患	94
腸閉塞	24
消化管穿孔	12
CVポート留置	15
その他	57

最新鋭の腹腔鏡手術システム

当院では2026年3月より最新鋭の腹腔鏡手術システム、Stryker 1788 4Kカメラシステムを導入しています（図2）。従来よりも高精細な4K画像により、血管や神経などの微細な構造をより鮮明に確認できるようになり、安全で精度の高い手術につながっています。

また、手術後の重大な合併症の一つに「縫合不全」があります。腸管同士をつないだ部分が血流障害などを原因として綻んでしまい、腸液や便が漏れてしまうことです。1788システムでは、ICG蛍光法という技術を用いて腸管の血流をリアルタイムに評価することが可能です。以前のシステムでもこの機能はありましたが、より進化しており、当科ではOverlayモード、CSFモード、Contrastモードの3つの機能（図3～5）を駆使することによって血流状態を慎重に確認し、縫合不全のリスクを極力低減するよう努めています。

私たちは最新の医療機器と確かな技術を組み合わせ、安全で質の高い外科医療を提供できるよう日々研鑽を重ねる所存です。これからも地域の皆様に信頼される消化器外科を目指し、診療に取り組んでまいります。



Stryker 1788 4Kカメラシステム
（Stryker社パンフレットより一部改訂）

図2



Overlayモード

図3



CSFモード

図4



Contrastモード

図5

看護の日の行事を開催しました



手術・中央材料室看護師長
室田 ゆかり

副看護部長
室山 由美子

みなさんは「看護の日」をご存じですか? 5月12日は近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。その功績をたたえ、5月12日は「看護の日」と定められています。

当院では、看護の日の行事としてポスター掲示と患者さんへのメッセージカードの配布を行いました。ポスターは、各部署の紹介や大切にしていることなどをテーマに作成しました。部署ごとの特徴が伝わるよう、写真やイラストを取り入れ、温かみのある楽しい内容となりました。2階外来待合ホスピタルアート前の壁一面に掲示したところ、多くの患者さんやご家族が足を止めて見ていただきました。「壁がにぎやかでいいね」「○○先生が写ってる」「この前入院していた病棟だね」などのお声をいただき、私たち看護師も大変嬉しく感じました。

また、入院中の患者さんや、腎センター・化学療法センターに通院されている患者さん、訪問看護を利用されている患者さんへ看護師からメッセージを添えたカードをお渡ししました。患者さんからは、「ありがとう」「うれしいね」と温かい言葉をいただき、いつも以上に会話が弾む場面も見られました。メッセージカードを通して、不安やストレスを抱える患者さんやご家族に、少しでも明るい気持ちになっていただけたのではないかと思います。私たち看護師にとっても、患者さんの笑顔や「いつもありがとう」という感謝の言葉は大きな励みとなりました。改めて看護のやりがいや喜びを感じることができました。

来年の看護の日は、患者さんや地域の皆さんと繋がりをさらに深められるような企画を考えていきたいと思います。ぜひ楽しみにしていてください。



新人看護師研修 看護部



新人ナースは黄色のストラップが目印です！

副看護部長
室山 由美子



今年度は、新人看護師21名、施設間異動・新採用看護師10名を含め31名の新しい仲間を迎えました。

全職種対象の新採用者研修を2日間、その後新人看護師を対象に3日間の研修を行い基本的な知識や技術の習得に励みました。はじめは緊張した様子でしたが、研修が進むにつれて笑顔や活気あふれる姿がたくさんみられました。演習では、お互いに声を掛け合いながら、そして楽しみながら学ぶ様子が印象的でした。また、演習の中で「患者さんの立場ならどうかな?」と考える場面もあり、「技術に一生懸命にならずに、声かけが必要だね」と指導する副看護師長と一緒に学びを深めることができました。

新人看護師たちは、研修を通して米子医療センターの看護師として、また専門職業人としての自覚と責任を実感しています。これから現場で様々な経験を重ね、さらに成長していくことが楽しみです。新人看護師は、みなさんから見て分かるように黄色のストラップを付けています。病院全体で、新人看護師の成長を見守りつつ、ご協力・ご指導のほどよろしくお願いいたします。







＼認定看護師の紹介／

当院所属の認定看護師です。



【皮膚･排泄ケア】



生田 奈都子



船越 知春

褥瘡･創傷や失禁による皮膚トラブルのケア、ストーマ管理や指導を含めた継続支援を行っています。患者さん、職員の「困った」に対応しています。

【感染管理】



荻　幹



多田 兼次



遠藤　萌

患者さん、職員を感染から守るための感染対策に取り組んでいます。感染症対策から日頃のちょっとした感染対策への疑問などに答えます。

【認知症看護】



吉田 由香

日々のケアで生じる**認知症看護の小さな疑問**の解決をサポートします。

【糖尿病看護】



遠藤 朋子

患者さんとの看護面談を通して**個々に合った療養方法を一緒に考え、自己注射などの技術習得も支援**しています。

【乳がん看護】



長本 奈美

幅広い年代の患者さんに対し、**生活と治療の両立を支援**しています。**検診啓発、治療から緩和ケアや最新トピックス**にもお答えします。

【がん放射線療法看護】



田村 泉

患者さんが治療を完遂できるよう、**有害事象の観察・ケアや生活指導**を行っています。**放射線治療**をわかりやすくお伝えしています。

【緩和ケア】



山﨑 美沙



大林 香織

苦痛の緩和に向けた知識の普及を目的とした、勉強会やコンサルテーションを通じてケア向上を支援しています。**症状緩和や意思決定支援**に関する相談にも応じています。

【がん化学療法看護】



濵田 のぞみ



中島 夏希



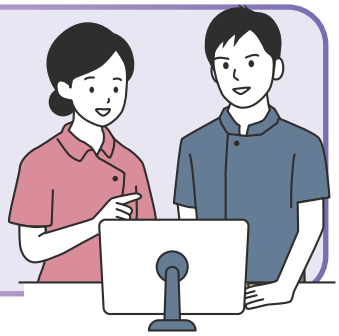
小谷 奈穂子

抗がん剤治療の副作用や症状をコントロールしながら、患者さんが自分らしく生活できるよう支援しています。

困った時の相談対応や地域の医療機関に向けた各種研修会の依頼も承っております。詳細は次ページをご覧ください。

＼研修のご依頼に対応します!／

当院では、各分野における認定看護師が専門性を活かし、
院外の医療機関・施設の皆さまを対象とした研修も随時承っております。









●研修形式

講義、事例検討、実技研修など

●実施方法

訪問による現地開催、
Web開催、対面と
オンラインを組み合わせた
ハイブリッド形式など









日程や内容については個別にご相談させていただきますので
まずはお気軽にお問い合わせください。

米子医療センター　認定看護師連絡会

お問い合わせ先:看護部長室　TEL:0859-33-7111（代表）　**Eメール:501-kango@mail.hosp.go.jp**

薬剤部／安全キャビネット



2025年8月に安全キャビネットが新しくなりました。

当院薬剤部では、薬剤師業務の一つとして抗がん剤の調製を行っており、日々、入院・外来患者さんに投与する抗がん剤を安全かつ適切に調製しています。このたび、抗がん剤調製時に使用する安全キャビネットを更新しましたので、ご紹介いたします。

安全キャビネットとは、病原体や遺伝子組換え生物などのバイオハザードを封じ込め、作業者や周囲の環境を保護しながら安全に作業を行うための設備です。また、外部からの汚染を防ぎ、無菌的な作業環境を維持する役割も担っています。

安全キャビネットには、次の3つの保護機能があります。

(1)作業者の保護

有害な微生物や薬剤への曝露を防ぎ、作業する医療従事者の安全を守ります。

(2)環境の保護

キャビネット内で発生した微生物や有害物質が室内へ漏れ出すことを防ぎ、院内環境の安全を確保します。

(3)試料の保護

外部からの微生物や異物の混入を防ぎ、無菌的な操作環境を維持します。

〇安全キャビネットの種類

クラスⅠ　作業者と環境を保護

クラスⅡ　作業者、環境、試料のすべてを保護

クラスⅢ　完全密閉型(グローブボックス)

このたび導入した安全キャビネットは、作業者・環境・試料のすべてを保護するクラスⅡ安全キャビネットです。抗がん剤調製に必要な無菌環境を維持しながら、薬剤への曝露リスクを低減することができます。

今後も薬剤部では、適切な薬剤管理と安全対策を徹底し、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。





画像提供：株式会社池田理化

栄養管理室の掲示板

管理栄養士
川上 穂南

◇夏野菜で夏を乗り切ろう

突き抜ける青空と眩しい太陽が真夏の到来を感じさせます。トマトも太陽のように赤く染まり夏野菜が美味しい季節となりました。

野菜は旬の時期に一番栄養価が高く、その時期に人間の体に必要な栄養が詰まっていると言われています。夏の暑さの影響で食欲が低下する時期ですが、夏野菜の代表的な「オクラ」「なす」「トマト」「とうもろこし」「きゅうり」などは夏の時期に必要な栄養素が豊富で、食卓もカラフルに彩ってくれるので、食欲も刺激されます。

また、夏は汗をかくことが多く、水分とともに体調管理に欠かせない栄養素であるカリウムなどのミネラルが失われています。そんな時におすすめなのが、夏に旬を迎える夏野菜です。その中でも、「なす」は低カロリーでありながら、食物繊維、ビタミン、ミネラルを豊富に含んでいます。これらの栄養素は免疫機能のサポート、骨の健康維持、血管機能改善などにも役立ちます。

視覚的にも楽しめる、夏野菜を使った料理を美味しくいただきましょう。

☆夏野菜のさっぱりスープ



[材料(1人分)]

鶏ささみ肉	30g
なす	20g
ミニトマト	15g
オクラ	10g
玉ねぎ	10g
濃口醤油	2g
塩	0.3g
水	150ml
オリーブオイル	1g
ポン酢	1.5g
片栗粉	0.5g
鶏ガラ	2g

[栄養成分(1人分当たり)]
エネルギー:62kcal　たんぱく質:6.6g
脂質:1.2g　炭水化物:4.3g　塩分0.7g

[作り方]
①ささみは食べやすい大きさに切ります。
②オクラとなすは5㎜の輪切り、ミニトマトは2等分に切り、玉ねぎは薄切りにします。
③鍋にオリーブオイルを入れ、なす、ささみを入れ火を通します。
④③に玉ねぎと塩を加えてまぜます。
⑤④にオクラとミニトマト、鶏ガラ、醤油を加えてひと煮立ちさせます。
⑥煮立ったら水溶き片栗粉を入れとろみをつけます。
⑦仕上げにポン酢を入れてお椀によそったら完成です。

レシピ提供:松江栄養調理製菓専門学校

３年生クラス目標

令和9年3月末をもって閉校となる米子医療センター附属看護学校の最後の学年として、今年1年のクラス目標を立てました。このクラスは当校の教育理念でもある、「人間愛に根差した看護ができる実践力」を意識し、1年次より「愛」をテーマに学生がクラス目標を考えてきました。最高学年として、実習や国家試験全員合格に向け、31名全員が一丸となり様々な困難を乗り越えていかなければならないことをふまえて考えたクラス目標は「タカメ（高め）愛」です。

㋟ ゆまぬ努力で
㋕ べを乗り越え
㋮ ざせ全員合格!
～愛をもって接する～

この目標を掲げ、31名が1年間支え合いながら看護師国家試験全員合格を目指していきます。本校最後の学年として有終の美で締めくくれるように教職員も一丸となり支援していきます。





学生自治会主催『クリーン大作戦!!』

看護学校自治会 担当教員 田中 清美

6月4日(木)、太平洋側で台風6号が通過する中、学生自治会主催でクリーン大作戦を行いました。前日の雨もあがり、曇天で心地よい風が吹き、気候に恵まれた日となりました。学生30名と教職員で、学校と学生寮の周辺の草取りを行いました。学生は、虫の出現に大声を挙げたり、なかなか草が抜けず困ったり、学生同士でしゃべりながら楽しそうにしたり、黙々と草取りをしたり、といろいろな姿が見えました。

時間が過ぎるにしたがって、とてもきれいになり、私自身も達成感を感じることができました。

学生人数が少ない中で取り組み、人数が少なくても、全員が協力すれば、何かしら成果が出ることを実感し、協働する大切さ必要性を感じられたことを期待します。





キュービクルフェンス周り



寮前



自転車小屋付近



寮玄関前



自転車小屋付近



キュービクルフェンス内





保存版

外来診療担当表

令和8年8月1日現在　切り取ってお使いいただけます

診療科＼曜日		月	火	水	木	金	備　考
呼吸器内科			池内　智行	唐下　泰一	池内　智行	唐下　泰一	
		山本　光紘			山本　光紘		
						野中　喬文	
	専門外来		阪本智宏[肺がん外来]				
消化器内科		香田　正晴	原田　賢一	松岡　宏至	香田　正晴	松岡　宏至	
		平井実佳子	角田　宏明	角田　宏明	平井実佳子	原田　賢一	
				大山　賢治			肝臓
血液腫瘍内科			前垣　雅哉	原　健太朗		原　健太朗	完全予約制
		杉本　里乃	原　健太朗	但馬　史人[第2・第4] 杉本　里乃[第1・第3・第5]		河村　浩二	
	専門外来			フォローアップ			【診療時間】13時～14時（予約制）
循環器内科			福木　昌治	福木　昌治	中村研介[第3]	福木　昌治	
	専門外来	福木　昌治					【診療時間】(月曜日): ペースメーカー外来　13時30分～予約制
糖尿病・代謝内科		角　　啓佑	石井有李子	角　　啓佑	石井有李子	門脇佳名子[第1・第3・第5]	初診は紹介のみ
緩和ケア内科		八杉　晶子	八杉　晶子	八杉　晶子	八杉　晶子	八杉　晶子	※新患は要予約
腎臓内科			鳥大医師	山本真理絵	山本真理絵	山本真理絵	初診は水曜日、金曜日 再診は木曜日
神経内科						守安正太郎	初診は紹介のみ
健診		鰤岡　直人	鰤岡　直人	鰤岡　直人	福木　昌治	角　　啓佑	事前予約のみ ※乳がん・子宮がん検診を除く
小児科	午前	西村　　玲	佐々木佳裕	上山　潤一	西村　　玲	佐々木佳裕	【診療時間】8時30分～
			西村　　玲[内分泌初診]				
	午後	佐々木佳裕	西村　　玲	交替医[急患のみ]	佐々木佳裕	上山　潤一	【診療時間】15時～17時
	専門外来	西村　　玲[内分泌初診]	佐々木佳裕[アレルギー]	交替医[乳児健診]・[予防接種]	西村玲[内分泌初診]／検査		【診療時間】午後～ ※詳細な時間はお問い合わせください
消化器・一般外科		奈賀　卓司	交替医	牧野谷真弘	谷口健次郎	石黒　　諒	
		浅山　皓太					
	専門外来			ストーマ			第1.3週のみ　予約制 【診療時間】13時～16時
胸部・乳腺外科		万木　洋平	万木　洋平	万木　洋平	鳥大医師	万木　洋平	※火・金の13時～15時も 初診を受け付けます
			深谷　由美			深谷　由美	
	専門外来	リンパ浮腫		リンパ浮腫		フットケア	予約制 ※リンパ浮腫は 月・水曜日の午前中のみ
整形外科		遠藤　宏治	遠藤　宏治	大槻　亮二	南崎　　剛[木曜日午前]	藤田　章啓	
		藤田　章啓	林原　雅子	中山　　翼	大槻　亮二	林原　雅子	
			中山　　翼				
	専門外来	遠藤　宏治	遠藤　宏治		南崎　　剛[木曜日午前]		骨軟部腫瘍
	専門外来		林原　雅子		大槻　亮二	林原　雅子	火曜:関節リウマチ外来 木曜:関節外科外来　金曜:手の外科外来
泌尿器科		磯山　忠広			磯山　忠広	磯山　忠広	
		三原　　悠	安川　流生	小山　優里	三原　　悠	三原　　悠	
放射線科		杉原　修司	杉原　修司	杉原　修司	杉原　修司	杉原　修司	
	専門外来		吉田　賢史				放射線治療（完全予約制）
歯科口腔外科			土井理恵子	土井理恵子	土井理恵子	小谷　勇[金曜日午後]	金曜日（月2回不定期・予約のみ）
耳鼻咽喉科		鳥大医師	山本　祐子		鳥大医師		
眼　科			鳥大医師		鳥大医師		
婦人科		鳥大医師				鳥大医師	7月～12月のみ月・金

時間 〈診療受付〉8時30分～11時

国立病院機構 米子医療センター
〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号
TEL.0859-33-7111(代)　FAX.0859-34-1580(代)

診療情報提供書:FAXによる紹介状の送信先
地域医療連携室 直通FAX:0859-37-3931
トリップ(病院紹介システム)による紹介状の受付もしております。

米子医療センターマガジン あーかす #52 アーカス July 2026
平成26年1月10日／初刊発行　令和8年7月31日／発行
発行/米子医療センター　〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号　デザイン・印刷/有限会社 米子プリント社